

子ども真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和7年2月19日
長崎市立畝刈小学校
学校だよりNO. 134
校長 田中 成年

<子ども真ん中教育>

～健やか～

校舎内に掲示している「小学保健ニュース」1月18日号に「メイク用品やアクセサリによる皮膚トラブル」の記事が掲載されていました。「**小学生の皮膚は未熟で荒れやすく、繰り返し使うとアレルギーを起こす危険も高まります**」という内容でした。「**アレルギーは突然出ることもあるし、一度出ると大人になっても使うたびに出る**」「**将来メイクができなくなる皮膚になってしまうことがある**」という危険な内容の記事でした。染髪では頭皮を痛めますし、ピアスなどにいたっては、傷をつけ、アレルギーが突然出てしまうと、将来大人になって身に着けたくても身に着けられなくなるというもののようです。

まとめると、「**子供のうちは皮膚が弱いので健康に保つことが大切**」ということです。本校にも、染髪、ピアスの子供たちがいます。今は自分の皮膚のために我慢をして健康な皮膚を保ち、大人になって存分におしゃれができるようにする準備をするように心がけるとよいのではないかと思います。周囲の大人が気を付けてあげないと、**今はよくても、「将来不幸になるのは子供たち」**だということを考えていかなければいけないと思いました。

このたよりは、ぜひ子供たちと一緒に読んでいただきたいと思います。



周囲の大人がともに協力し、子供たちの健やかな成長をしっかりと見守りましょう。

子供たちが大人になって、将来存分に好きなおしゃれを楽しめるように。